

こ　こ　が　聞　き　た　い

一般質問

今定例会の一般質問は、23人の議員が登壇し、行政運営について市長及び教育委員長
の考えをたどしました。

質問、答弁の要旨を掲載します。（文責は質問議員）



早期改築が望まれる真城小学校（水沢区）

質問 中国四川大地震の被害につきましては各位ご案内の通りであり、衝撃だったのは多くの学校の建築物としてのものさでありまして、本市の小・中学校の耐震化とその補強、改修工事の現状について伺います。



すがわら けんお
菅原今朝男
議員

公立小・中学校の耐震化
補強・改築工事の推進について

なりました。本当に気の毒なことで心痛む思いがいたします。

奥州市の公立小・中学校の耐震化補強・改築工事の推進状況につきましては、平成18年度までに小・中45校すべての校舎・体育館の耐震診断と耐力度調査を終え、その結果を受けてまして文部科学省通達をもとに、大地震で倒壊等の危険性が高い学校施設を最優先に改築や改修を進めております。

教育委員長 平成20年現在の小・中学校の校舎及び屋内運動場の全棟数は155棟であります。このうち耐震化済みが100棟、構造耐震指標I S値0・7未満の耐震改修が必要なものは55棟で、耐震化率は64・5％となっております。また、国での地震防災対策特別措置法においてI S値0・3未満の7校12棟の改修・改築事業の全てが補助対象となりますし、市立幼稚園においても対象となります。



えんどう としひで
遠藤 敏
議員

世界遺産登録について
入札制度改正について

質問 文化庁は5月23日早朝、平

泉文化遺産イコモスから登録延期の勧告を受けた事を発表しました。大きな落胆と同時に、登録への真剣な思いが各方面に急速な広がりを見せています。

市長は延期の勧告をどう受けとめ、副県都構想にどう生かして行くのか。また、教育委員会の取り組みについても伺います。

市長 平泉の持つ顕著で普遍的価値を否定された訳ではないので、しっかりと登録に向けて取り組みます。また、副県都の文化、経済の発展に着実に結び付ける事が極めて重要であると認識しています。

教育委員長 郷土の文化をすべての子供達、市民に認識してもらう取り組みをいっそう進め、世界に目を向ける機会とします。

質問 市は普通建設事業費に対する前年度9・7％増の69億6千万円と積極予算を組んでいるが、この活用は地方経済にとって非常に大きな意味を持っています。

建設工事請負契約の入札制度は平成21年度からどう統一なるのか。また、前払い金制度、特Aの工事発注についても伺います。

市長 地元業者を優先する趣旨から、指名競争入札を中心に進め、入札参加資格要件、発注標準額については来年1月ころに関係団体